さらなる患者負担増は中止を！

署名にご協力ください

協会は、政府の計画する新たな患者負担増計画の阻止をめざし、世論を盛り上げようと、新しい「ストップ！　患者負担増」署名キャンペーンをに取り組んでいます。署名は 7 月までに 3 万筆を目標に集め、地元国会議員への働きかけを通じて、国会に届ける予定です。ぜひ多くの会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

北阪神支部では診療報酬改定研究会、職員接遇研修会などにご参加いただいた先生や職員の皆さまにご協力いただき現在 615 集まっています（6 月 20 日現在）。署名がまだの方や、患者さんにも協力のお声がけをぜひよろしくお願いいたします。

私たちの力で、政府の計画を一人でも多くの患者さんに知らせ、負担増を止めましょう。

ミニパンフやポケットティッシュなどのグッズもご活用ください。

署名用紙などのご注文は、℡ 078-393-1807、FAX078-393-1820 まで

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

保険医協会は県下で 7,200 人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で 1,500 人を超える先生方にご利用いただいております。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部（℡ 078-393-1817）まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部ニュース

2016年　6月25日号　No.260

発行者　兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長　中井通治

〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎(078)393-1801　FAX(078)393-1802

http：// www. hhk. jp /

第 89 回評議員会　谷口評議員が発言

アベノミクスは 今すぐ見直すべき

上・発言する谷口評議員
右・各部から活発な意見が出された

協会は、5 月 15 日に第 89 回評議員会を開催した。北阪神支部からは谷口紀善評議員（伊丹市）が「アベノミクスは今こそ見直すべき」をテーマに発言した。谷口先生の発言要旨を紹介する。

消費税増税８％以来、物価は上がり、市県民税・固定資産税などをはじめ、自動車税、厚生年金保険料も上がり、増税つづきで大変であることを、ひしひしと感じるようになった。これは税収が 50 ～ 60 兆円くらいしかないにもかかわらず、今年度は過去最高の 98 兆円以上もの予算を組むことに起因している。さらに、安保法の成立により防衛費は 5 兆円以上となり、安倍首相は選挙後は自衛隊を国防軍とすると言っている。

（2 面につづく）

（1 面からのつづき）

しかし、多くの国民は「景気が悪い」と言いながら、日本経済が再び成長軌道に乗り景気が回復するのではと思って耐えている。また、民主党政権があまりに期待はずれだったことや、政府の熊本震災へのすばやい対応、オバマ大統領の広島来訪などによって自民党の支持率が高くなっていると思われる。

一方、今年の年明けから日経平均株価が大幅に値下がりし、シャープの合併吸収や東芝の大幅な赤字などが起きている。これまでは円安と物価上昇がアベノミクス成功の指標とされていたが､最近の状況から｢もはやアベノミクスに期待できない｣と指摘する経済学者もいる。政治の真の立て直しが不可欠である。大企業は何兆円もの金をタックス・ヘイブンに隠さず、きちんと納税すべきだ。

現在、少子高齢化が急速になっており、先進国では日本がトップですすんでいる。政府は、介護保険の給付費や医療費がふくらんでいくことに危機感をもち、介護保険料の徴収を現在の 40 歳からではなく、20 ～ 30 歳から徴収を開始しようとしている。このような状況になったことは、国の失策である。

歯科会員懇談会　感想文

保険診療の勉強をしっかりと

支部は５月２１日にいたみホールで歯科部会と共催で、歯科会員懇談会「2016 年歯科新点数 Q&A ～疑問点を出し合い、交流しましょう！」を行い 17 人が参加した。講師を川村雅之副支部長、工藤大八郎支部幹事が務めた。参加者からの感想文を紹介する。

先日、歯科会員懇談会に参加した際に、改定への怒りなど感想を書くよう依頼を受けた。正直、「改定への怒り」というのが、ピンとこない。確かに、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準のために、あれこれ投資を迫られるというか、改定の度にいろいろ買わせようとする「か強診」はいかがなものかと思う。もっと言うと医療器具メーカーと政治家が癒着しているのではないかと疑いたくなる。けれど、それは今回に限ったことではない。昔は「改定」といえばプラス改定が常識だったそうで、その前提で考えるなら、高額な投資を迫られる上にプラスでもない改定というのは「怒り」なのかと、わからなくもない。

（3 面につづく）

（2 面からのつづき）

ところで、この前テレビで「歯医者は保険だけだと生活できないから自費に誘導しようとする」と言っていた。不況だとかなんだかんだいったところで歯科医は他の業種よりもよっぽど保護されていると、患者さんや世間一般の人をみていても感じる。患者さんの立場に立てば、自費診療優先ではなく、保険で診ることが大切だ。可能な範囲の投資をしつつ、保険診療のルールをしっかり勉強していくこと、それが大切なのだと改めて思った。

（伊丹市・かわむら歯科　川村一喜）

幹事会だより

第 346 回　６月２日 (木) 宝塚商工会議所　参加　４人

◆北阪神支部の会員数と組織率

5/31 現在　医科 329 人（72%）、歯科 182 人（55%）

◆情勢と医療運動対策

①沖縄での元海兵隊員による女性殺害事件、②要介護認定審査などについて意見交換した。

◆当面の支部活動

７月 16 日　医療安全管理研修会　14 時～　於・いたみホール

◆次回幹事会

７月７日（木）14 時 30 分～　於・いたみホール会議室

お問い合わせは℡ 078-393-1817 有本・横山・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料　(0120) 979-451

< 6月のテーマ >

月曜日　緑内障
火曜日　下痢と薬局で処方される漢方
水曜日　老人の水分補給
木曜日　放っておくと危ない「悪玉めまい」
金土日　輸血とC型肝炎

< 7月のテーマ >

月曜日　スマホ老眼
火曜日　スポーツマウスガードの効果
水曜日　海外から持ち込まれる感染症
木曜日　くり返す子どもの中耳炎
金土日　初夏の紫外線が強まる季節